

# 港湾の中長期政策「PORT 2030」 ～施策の内容（参考資料）～

---

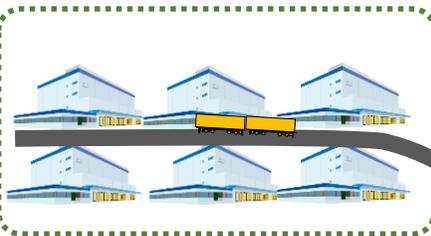
国土交通省 港湾局  
平成30年3月

# 1. グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築 (参考) ロジスティクスハブの集貨力の強化策

○ロジスティクスハブの集貨力を強化するため、周辺の物流施設についても海上輸送や軌道式システムにより円滑に接続

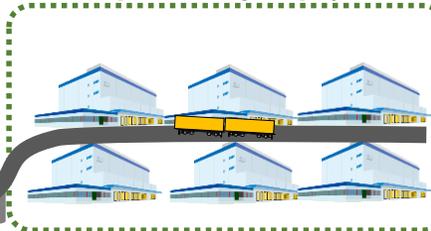
## 港湾ロジスティクス・ハブの形成

### 周辺の倉庫群

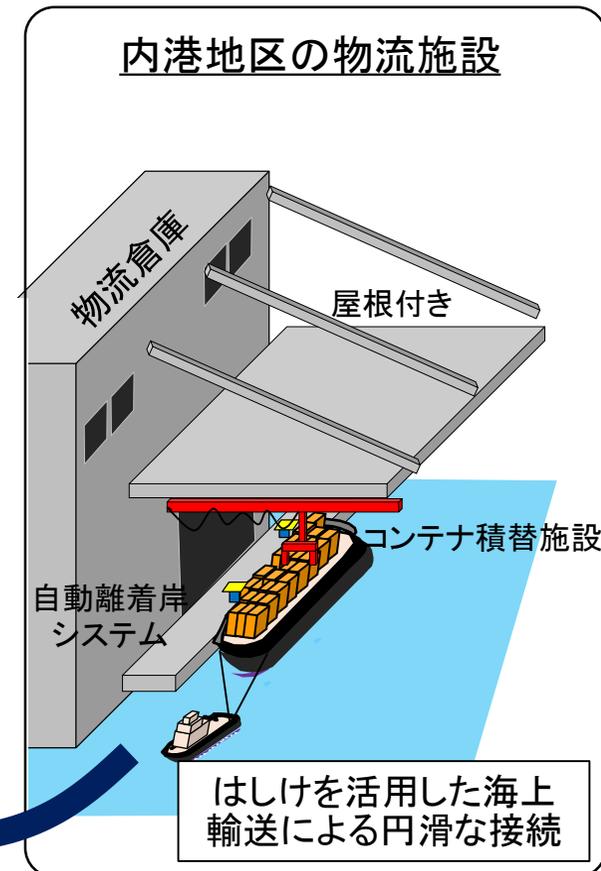


軌道式システムによる円滑な接続

### 周辺の倉庫群



### 内港地区の物流施設



はしけを活用した海上輸送による円滑な接続

コンテナターミナルへ直送

内航

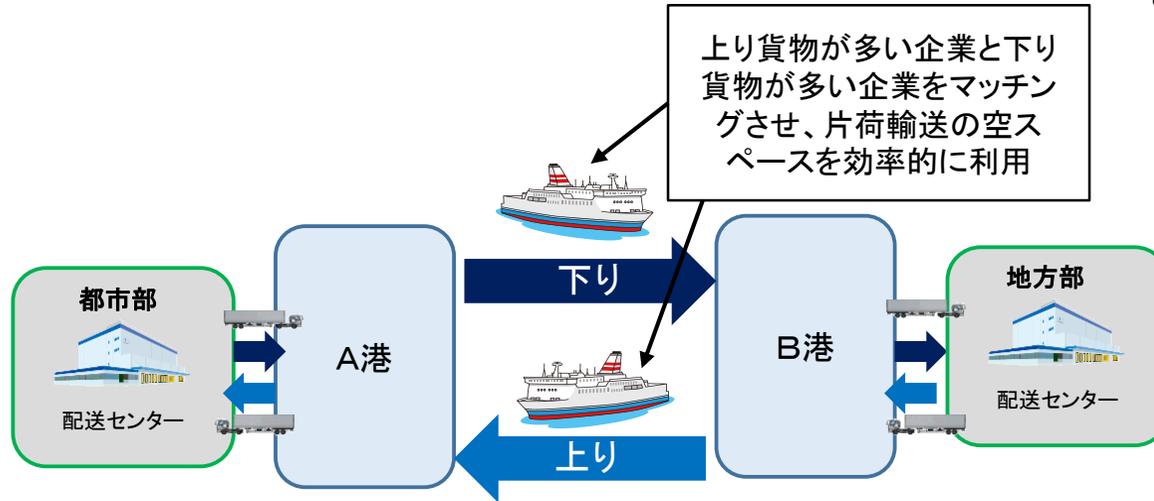
外航

- 臨海部空間における高付加価値産業の立地促進により、新たな雇用を創出し、地域経済に貢献
- 我が国の高い技術力を活用した加工・修繕等のサービス提供により、集貨・創貨を通じた輸出振興に貢献

# (参考) 荷主と運航事業者・物流事業者をつなぐ「マッチングシステム」構築

○内航輸送の効率性を向上させるため、施設の共同利用の促進や荷主と運航事業者・物流事業者をつなげるマッチングシステムの確立等を通じて、小ロット化する貨物の共同配送を促し、空コンテナ輸送をできるだけ縮小させる。

## 片荷輸送に対応する共同配送のイメージ



## ■ 関西国際物流戦略チームによる、荷主と物流事業者をつなぐ「マッチングシステム」(LOGI-LINK)

**物流パートナーへのアクセスサイト**

# LOGI-LINK

LOGI-LINKのご案内

登録無料

6月30日運用開始予定

国際物流戦略チームでは、物流事業者と荷主事業者及び物流事業者同士をパートナーとしてつなぐWebサイト「LOGI-LINK」を開設します。  
 輸出入を行う荷主事業者が条件にあった物流事業者を検索可能な「物流事業者検索機能」、また荷主事業者の輸出手続き等に関する悩みや疑問等、情報交流のための「物流情報掲示板（PR掲示板と質問用掲示板）」を設置します。  
 これらの機能により、荷主事業者には物流上のバリアを低減することで海外とのビジネスを、物流事業者には、荷主事業者の物流事業の発掘による物流サービスの創出を促進して関西の国際物流を活性化させることを目的としております。  
 なお、物流事業者から多くの登録をいただくことでマッチング効果を発揮しますので、積極的な登録を依頼中です。

< 「LOGI-LINK」の主な機能 >

**機能① 物流事業者検索機能**

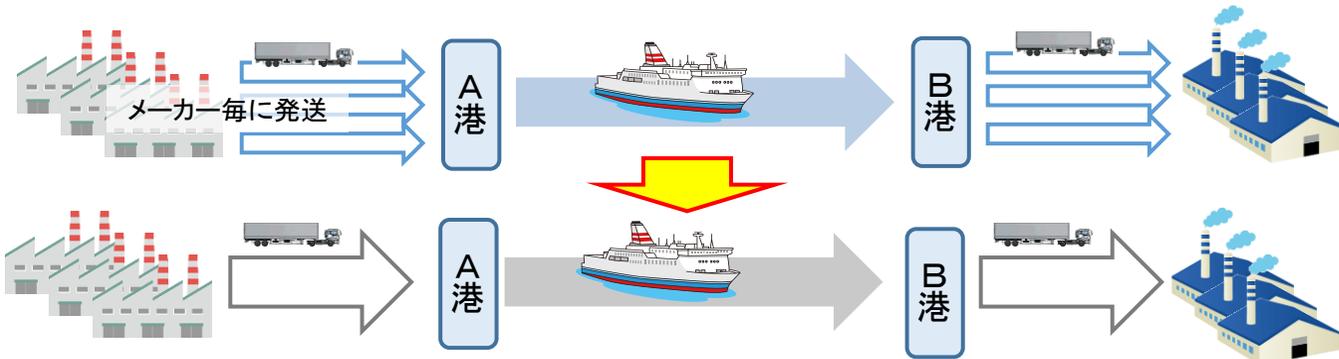
**機能② 物流情報掲示板**

「LOGI-LINK」 URL: <http://logi-link.net/wp2/>

運用開始前の事前登録サイト（物流事業者様用） URL: <http://logi-link.net/>

お問い合わせ先：  
 ■「Logi Link」設立の目的について  
 国際物流戦略チーム事務局  
 （国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室） 谷/西光  
 TEL: 078-391-3102 FAX: 078-325-8283 E-Mail: pa.kkr@hmk-kansaisougo.sml.mlit.go.jp  
 ■「Logi Link」登録方法・内容について  
 中央理研コンサルティング株式会社 港湾計画グループ 担当 丁子/岡本  
 TEL: 052-220-2922 FAX: 052-202-1366 E-Mail: chouji.un@cfk.co.jp

## 小ロット化する小口輸送の共同配送のイメージ

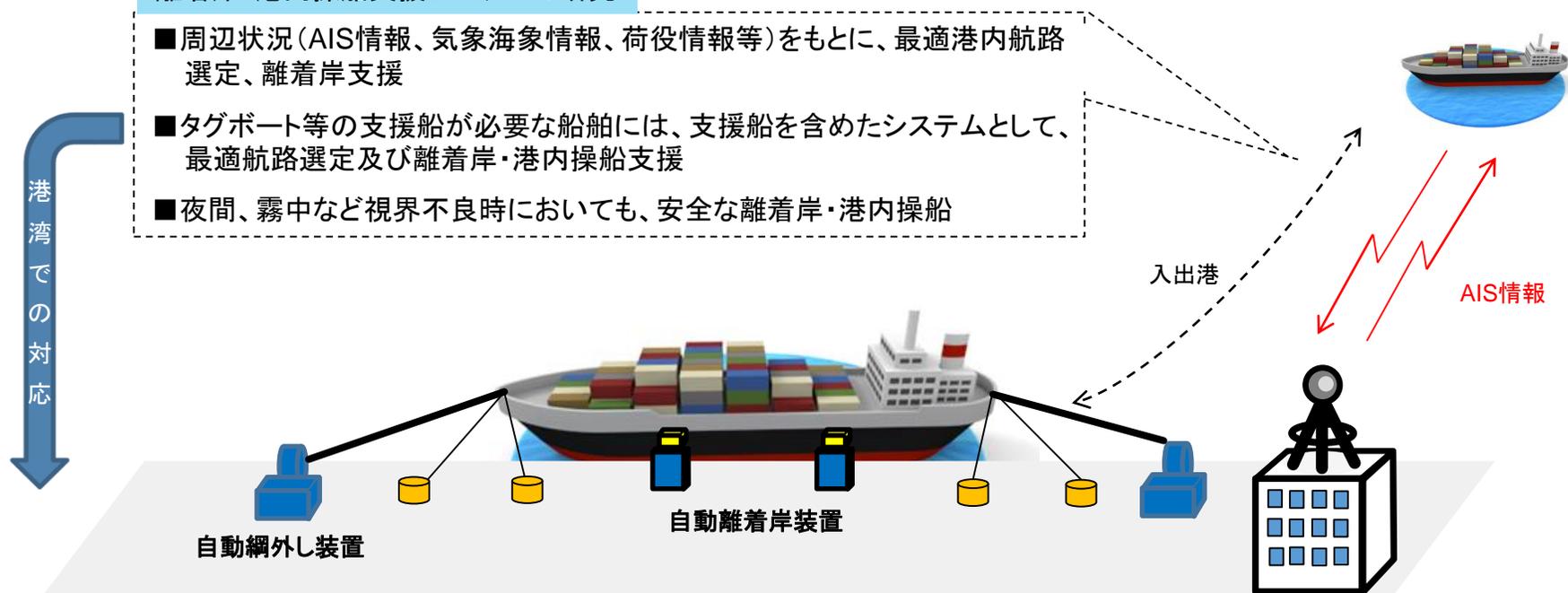


## 2. 持続可能な価値を創造する国内物流体系の構築 (参考)安全で効率的な船舶の離着岸システムの構築

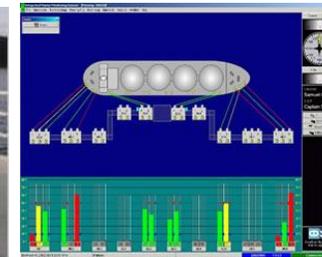
- AIS情報を活用して、将来的には、陸側からの、タグボート等の支援船を含めた最適航路の選定、離着岸・港内操船支援、夜間・霧中など視界不良時における、安全な離着岸・港内操船支援の実現も期待される。
- 港湾施設においても、安全な離着岸・港内操船を支援するための自動離着岸システムの導入を検討する必要がある（※特に、条件の厳しい離島航路を中心に検討）。

### 離着岸・港内操船支援システムの研究

- 周辺状況(AIS情報、気象海象情報、荷役情報等)をもとに、最適港内航路選定、離着岸支援
- タグボート等の支援船が必要な船舶には、支援船を含めたシステムとして、最適航路選定及び離着岸・港内操船支援
- 夜間、霧中など視界不良時においても、安全な離着岸・港内操船



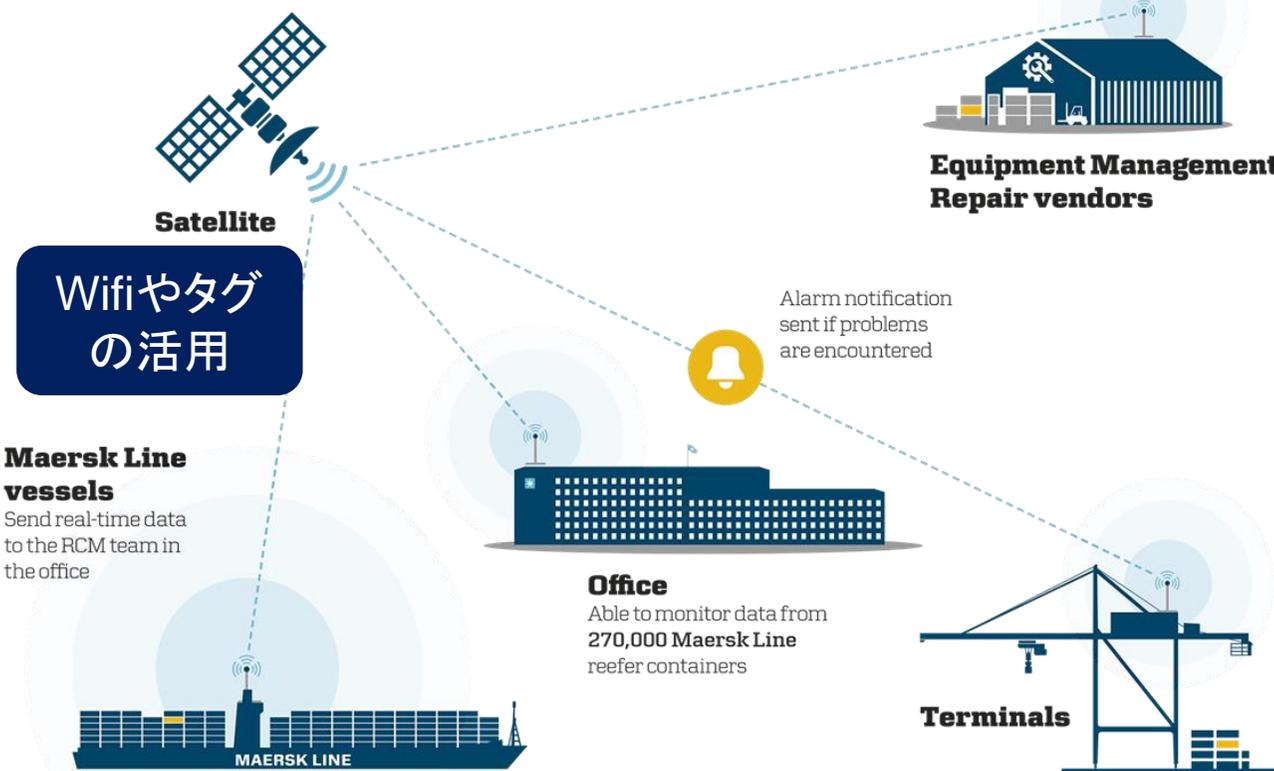
CAVOTEC社の自動離着岸装置(真空式)



TRELLEBORG社の自動綱外し装置と係船モニター

○ Wi-Fiネットワーク等の情報システムを駆使したリーファーコンテナの温度モニタリングシステム等の導入を促進することにより、離島を含む地域の農林水産物等の輸出・移出のための港湾機能を強化する。

## Wi-Fiを活用した「Remote Container Management (RCM)」システム(マースク社等)



輸送中のコンテナ内の温度や位置情報が陸上からリアルタイムで確認できるため、温度変化が感知された場合は、陸上オフィスから船上の船員に対して直接指示が出せるため、コンテナの温度管理機能の故障等による貨物の腐敗などを防ぐことが可能。

### VSAT equipped vessels

~270 + ~130

Vessels owned

Long-term charter vessels

### The RCM solution consists of:

- 1** GPS unit
- 2** GSM antennae
- 3** Wi-Fi

(出典: Maersk のウェブページより港湾局作成)

3. 列島のクルーズアイランド化

(参考) 国際フェリーを活用した航路構築の検討

- 舞鶴港と韓国浦項港を国際フェリーで結び、日韓の世界遺産を回るツアールート構築の構想がある。
- 地中海やバルト海などでは、クルーズ船並みの宿泊施設、免税店、レストラン等を備えた国際フェリーが運航されており、観光地を結ぶだけでなく、移動時間を楽しめるよう機能の充実が図られている。
- 貨物に加えて旅客も誘致することにより、安定した国際フェリー航路を構築する検討も求められる。

■ 国際フェリーを活用した日韓の歴史世界遺産ツアー構想

**【韓国浦項周辺の世界遺産】**

- 慶州(仏国寺)
- 慶州(石窟庵)

**【京都・奈良周辺の世界遺産】**

- 京都(金閣寺)
- 東大寺(奈良)

国内フェリーによる北海道観光も便利

仁川空港 (陸路)約360km → 浦項港 (海路)約550km → 舞鶴港 (陸路)約200km → 関西国際空港

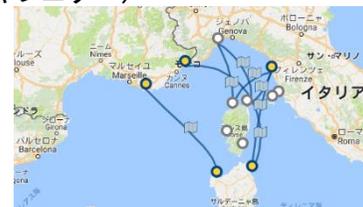
○: 世界遺産

■ 欧州における観光フェリーの活用状況

① フランス・イタリア⇄コルシカ・サルデーニャ島 (コルシカフェリー・サルデーニャフェリー)



メガ・スメラルダ号



キャビン



船内の免税店



船内レストラン

② スウェーデン・ストックホルム⇄エストニア・タリン (タリンクシリヤライン)



ロマンチカ号



スイートルーム



船内の免税店エリア

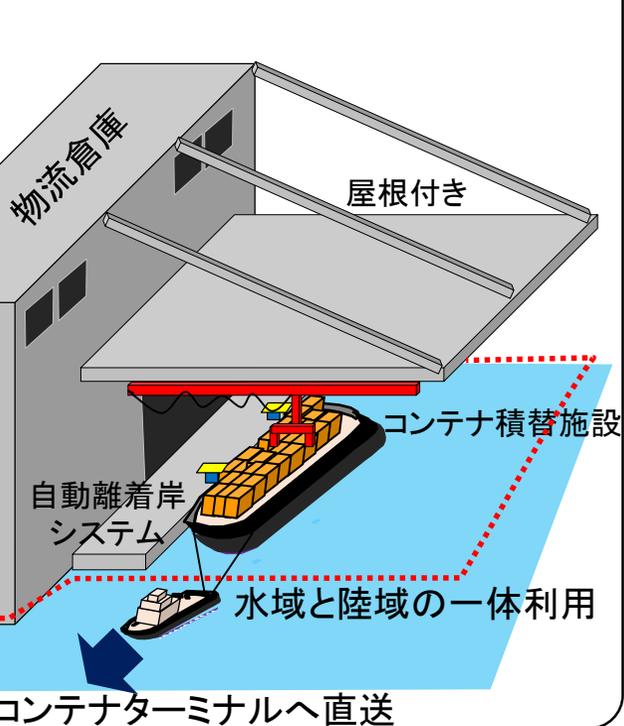


船内レストラン

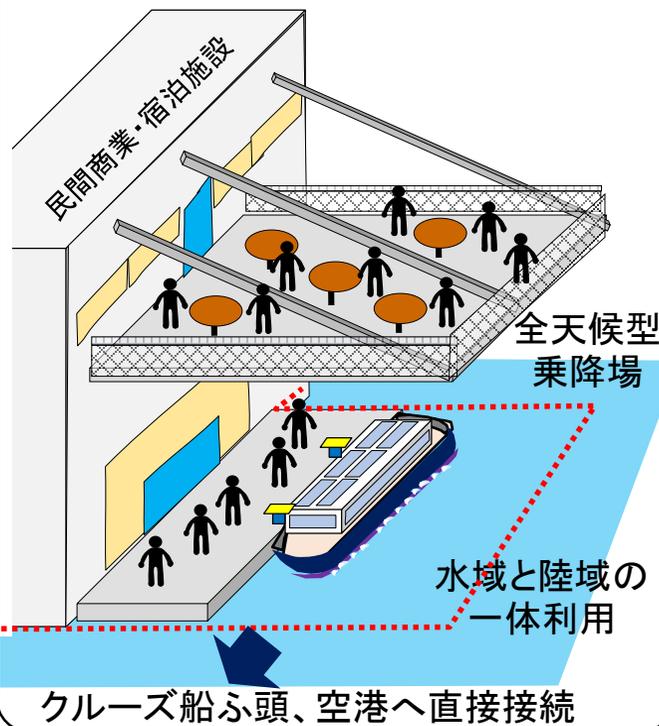
# (参考) 民間開発事業者による内港地区の再開発イメージ

- 内港地区等の港湾の再開発について、開発の基本方針、官民の役割分担、民間開発事業者の参入要件、地元合意手続等を規則により明確化
- 水域を含めた港湾空間の一体活用を可能とすることにより民間開発事業者の参入を促進

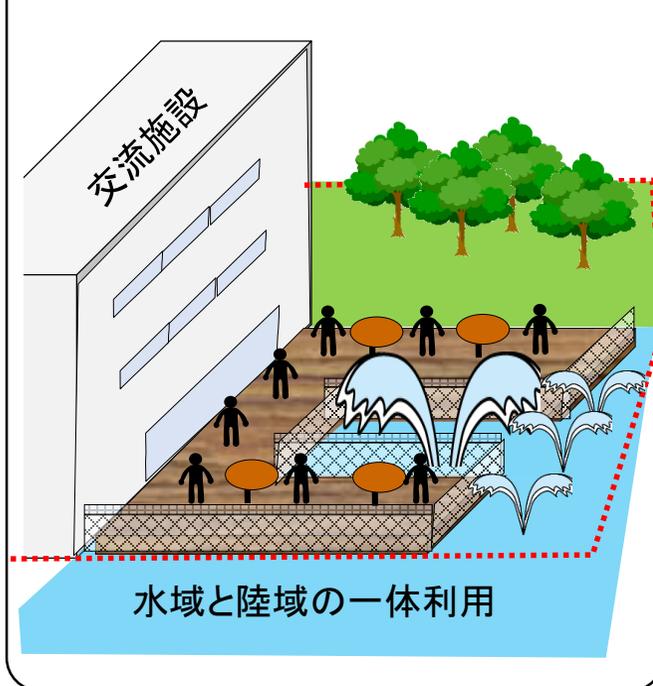
はしけによりコンテナターミナルへ直送可能な民間物流倉庫



クルーズふ頭、空港へ水上交通により快適に移動可能な民間商業・宿泊施設



水上公園やマリーナ等、魅力ある水辺空間を活用した民間の賑わい交流施設



専用岸壁の例



はしけを活用したコンテナ輸送の例



水上交通と商業施設が隣接する例



水上交通と宿泊施設が隣接する例



魅力あるマリーナ



水辺のカフェの例

# (参考) LNGバンカリング拠点の形成

※LNGバンカリング・・・船舶へのLNG(液化天然ガス)の燃料供給のこと

○2020年の船舶燃料への規制強化に伴い、船舶のLNG燃料化が進展することが見込まれている。これを契機とし、世界最大のLNG輸入国である我が国の強みを活かし、港湾に多数立地する既存のLNG基地を最大限活用し、シンガポールとも連携して、アジア地域で先駆けてLNGバンカリング(船舶への燃料供給)拠点を形成する。

## 建造が進む大型LNG燃料船



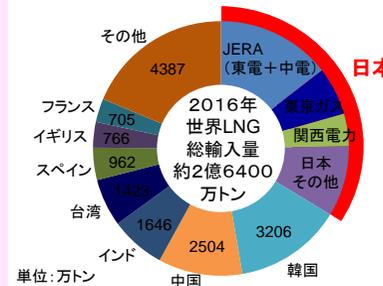
LNG燃料大型コンテナ船のイメージ  
(CMA-CGM社、2020年9隻竣工予定、22,000TEU型)



LNG燃料大型クルーズ船のイメージ  
(MSC Cruises社、2022,24年竣工予定、200,000 GRT型)

出典：CMA-CGM HP、MSC Cruises HP

## 我が国は世界最大のLNG輸入国



**日本の調達量**  
年間約8,300万トン  
**日本全体で世界の約1/3**

出典：資源エネルギー庁

## シンガポールと連携したLNGバンカリング拠点ネットワークの形成

**【日・シンガポール首脳会談】**  
LNGバンカリング拠点の整備に向けた両国間の協力を推進。  
平成28年9月28日 日・星首脳会談

既存船舶燃料油では世界最大のバンカリング拠点 (世界シェア約2割)

シンガポール

欧州

北米

日本

LNG燃料供給船

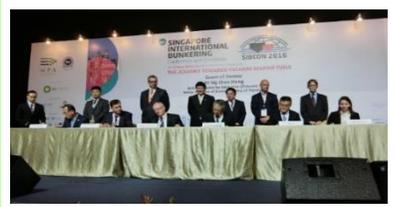
LNG燃料船

LNGバンカリングのイメージ

## LNGバンカリングを巡るピックアップ

### 【国際MOU(覚書)の署名】

LNGバンカリング推進に向けて国土交通省港湾局を含め7カ国8者の港湾当局間で覚書に署名。  
平成29年7月には新たに3カ国3者が署名。



平成28年10月5日 覚書署名

### 【我が国民間事業者の動き】

国内における船舶向けLNG燃料供給事業の検討を開始



平成30年1月26日 報道発表

太平洋に面しアジアの東側のゲートウェイに位置する我が国にLNGバンカリング拠点を形成することにより、太平洋を航行する船舶等の我が国への寄港増加を図り、港湾の国際競争力を強化する。